

新潟市GIGAスクールパイロット事業

2023年2月14日（水）@オンライン

情報活用能力の着実な育成を目指した ルーブリック評価表の導入



新潟市立上所小学校

ICT主任 五十嵐 健太

kenta01-igarashi@city-niigata.ed.jp

Agenda

- 1) 当校が重視する情報活用能力とルーブリック評価表
- 2) ルーブリック評価表導入の背景
- 3) ルーブリック評価表作成の流れ
- 4) 今後の展開

当校が重視する
情報活用能力と
ルーブリック評価表

情報活用能力とは？

ICT端末を活用して育む“学習の基盤となる資質・能力”

ICT端末を
活用して育む
能力

情報を伝える力

- ☑ 複数の表現手段を選択して伝える。
- ☑ 対象に合わせて伝える。

情報を整理・分析する力

- ☑ 複数の情報を基に整理・分析する。
- ☑ 思考ツールを用いて整理・分析する。

情報を集める力

- ☑ 多様な「人・もの・こと」から必要な情報を集める。
- ☑ 情報の妥当性、信頼性を吟味して集める。

プログラミングの能力

- ☑ ICT 端末の働きや役割・影響について理解する。
- ☑ プログラミング的思考をする。
- ☑ ICT 端末を活かして学ぼうとする。

操作する技能

- ☑ タイピングなど文字を速く打つ。
- ☑ ICT 端末の機能をうまく使う。

情報モラル、 デジタルシティズンシップ

- ☑ 安全や健康に気を付けて、よりよい判断をしてICT端末を使う。

1時間の授業だけでなく
各教科や単元を通して育む



ICT端末の
活用を支える
能力

ルーブリック評価表とは？

ルーブリック (英: *rubric*) とは、学習到達度を示す評価基準を、観点と尺度からなる表として示したものの。主に、パフォーマンス課題における学習者のパフォーマンスの質を評価するためのツールとして使用される。

	項目A	項目B	項目C
レベル1	評価基準	評価基準	評価基準
レベル2	評価基準	評価基準	評価基準
レベル3	評価基準	評価基準	評価基準
卒業時の姿	評価基準	評価基準	評価基準

作成したルーブリック評価表

	1 iPadのこと	2 タイピング	3 考えること・表すこと	4 情報を使うこと
Level 1 1年生, 2年生 向け	カメラを使って、写真や動画を撮ることができる。 先生からもらったサイトであれば、アクセスできる。	5分間に、かな入力で、40字くらいの文章を入力できる。	写真や単語などを、ペン図やYチャート、Xチャートなどでくらべたり、分けたりできる。	情報を使うための種 先生と友だちの話や教科書に書かれていることが分かる。
学習活動例				
Level 2 3年生, 4年生 向け	時計、リマインダー、メモなど学びに生かせるツールを知っている。 必要なアプリを考えて、インストールできる。	5分間に、ローマ字入力で、100字くらいの文章を入力できる。 自分のアカウントとパスワードを入力できる。	集めた情報をクラゲチャートやキャンディチャートなどで整理したり、分析したりできる。 スライド等を作成し、自分の考えを理論的に話すことができる。	いくつかのサイトから情報を集め、どの情報が正しいか判断できる。 学級や学年に向けて、classroomなどで、情報を発信できる。
学習活動例				
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なツールを考え、組み合わせて使うことができる。	5分間に、ローマ字入力で、200字くらいの文章を入力できる。	文章や表を共同で編集したり、コメントを付けたりしている。 動画やイラストなど、文以外の表現方法を知っていて、活用できる。	Web以外に、新聞や図書、アンケートなど、いくつかのメディアから情報を集めることができる。 学校内外に向けて、デジタルツールを用いて、情報を発信できる。
学習活動例				

	1 メディアバランス Well-being	2 プライバシー セキュリティ	3 デジタル足あと アイデンティティ	4 人間関係 コミュニケーション	5 ネットいじめ ヘイトスピーチ	6 ニュース メディアリテラシー
Level 1 1年生, 2年生 向け	iPadの使わない時間と場所が分かり、決めた約束を守っている。 教材と指導案など 動画	プライベートな情報には何があるか知っている。 教材と指導案など 動画	自分がどのインターネットを見たか確認している。 教材と指導案など 動画	classroomなどに参加している友だちや先生はだれか知っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめや悪口にはどのようなものがあるか知っている。 教材と指導案など 動画	情報が信頼できるか判断する方法を知っている。 教材と指導案など 動画
Level 2 3年生, 4年生 向け	自分がどのメディアをいつ、どのくらいの時間を使ったか分かり、ふり返っている。 教材と指導案など 動画	人に教えてもよい情報と、教えたくない情報を決めている。 教材と指導案など 動画	インターネットを見ると、自分の足あとが残ることを知っている。 教材と指導案など 動画	聞かれてもよい質問と聞かれたら困る質問が分かり、答えるかどうか決めている。 教材と指導案など 動画	オンライン上のやり取りについて、直接やり取りするときのちがいを知っている。 教材と指導案など 動画	情報や作品などには著作権があることを知った上で、正しく引用したり、利用したりしている。 教材と指導案など 動画
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なメディアバランスの計画を考え、実行している。 教材と指導案など 動画	プライベートなことを他の人に知らせないために、どうするとよいか分かり、行動している。 教材と指導案など 動画	インターネットで情報発信をすると、自分の情報が残ることを知り、責任ある行動がとれる。 教材と指導案など 動画	発信する情報の種類が分かり、区別して情報発信を行っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめも同じように許されないことだと理解し、そうしないようにしている。 教材と指導案など 動画	いくつかのメディアや情報源から正しい情報を選び、批判的に考えて活用している。 教材と指導案など 動画
共通	責任のリング	教材と指導案	動画			

作成したルーブリック評価表

	1 iPadのこと	2 タイピング	3 考えること・表すこと	4 情報を使うこと
Level 1 1年生, 2年生 向け	カメラを使って、写真や動画を撮ることができる。先生からもらったサイトであれば、アクセスできる。	5分間に、かな入力で、40字くらいの文章を入力できる。	写真や単語などを、ペン区やYチャート、Xチャートなどでくべたり、分けたりできる。	情報を使うための種 先生と友だちの話や教科書に書かれていることが分かる。
学習活動例				
Level 2 3年生, 4年生 向け	時計、リマインダー、メモなど学びに生かせるツールを知っている。必要なアプリを考えて、インストールできる。	5分間に、ローマ字入力で、100字くらいの文章を入力できる。自分のアカウントとパスワードを入力できる。	集めた情報をクラゲチャートやキャンディチャートなどで整理したり、分析したりできる。スライド等を作成し、自分の考えを理論的に話すことができる。	いくつかのサイトから情報を集め、どの情報が正しいか判断できる。学級や学年に向けて、classroomなどで、情報を発信できる。
学習活動例				
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なツールを考え、組み合わせて使うことができる。	5分間に、ローマ字入力で、200字くらいの文章を入力できる。	文章や表を共同で編集したり、コメントを付けたりしている。動画やイラストなど、文以外の表現方法を知っていて、活用できる。	Web以外に、新聞や図書、アンケートなど、いくつかのメディアから情報を集めることができる。学校内外に向けて、デジタルツールを用いて、情報を発信できる。
学習活動例				

情報を使うこと
Level 1

先生と友達の話や教科書に書かれていることが分かる。

	1 メディアバランス Well-being	2 プライバシー セキュリティ	3 デジタル足あと アイデンティティ	4 人間関係 コミュニケーション	5 ネットいじめ ヘイトスピーチ	6 ニュース メディアリテラシー
Level 1 1年生, 2年生 向け	iPadの使わない時間と場所が分かり、決めた約束を守っている。 教材と指導案など 動画	プライベートな情報には何かがあるか知っている。 教材と指導案など 動画	自分がどのインターネットを見たか確認している。 教材と指導案など 動画	classroomなどに参加している友だちや先生はだれか知っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめや悪口にはどのようなものがあるか知っている。 教材と指導案など 動画	情報が信頼できるか判断する方法を知っている。 教材と指導案など 動画
Level 2 3年生, 4年生 向け	自分がどのメディアをいつ、どのくらいの時間を使ったか分かり、ふり返っている。 教材と指導案など 動画	人に教えてもよい情報と、教えたくない情報を決めている。 教材と指導案など 動画	インターネットを見ると、自分の足あとが残ることを知っている。 教材と指導案など 動画	聞かれてもよい質問と聞かれたら困る質問が分かり、答えるかどうか決めている。 教材と指導案など 動画	オンライン上のやり取りについて、直接やり取りするときのちがいを知っている。 教材と指導案など 動画	情報や作品などには著作権があることを知った上で、正しく引用したり、利用したりしている。 教材と指導案など 動画
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なメディアバランスの計画を考え、実行している。 教材と指導案など 動画	プライベートなことを他の人に知らせないために、どうするとよいか分かり、行動している。 教材と指導案など 動画	インターネットで情報発信をすると、自分の情報が残ることを知り、責任ある行動がとれる。 教材と指導案など 動画	発信する情報の種類が分かり、区別して情報発信を行っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめも同じように許されないことだと理解し、そうしないようにしている。 教材と指導案など 動画	いくつかのメディアや情報源から正しい情報を選び、批判的に考えて利活用している。 教材と指導案など 動画
共通	責任のリング	教材と指導案	動画			

△ICT活用能力

○情報活用能力

ループリック評価表

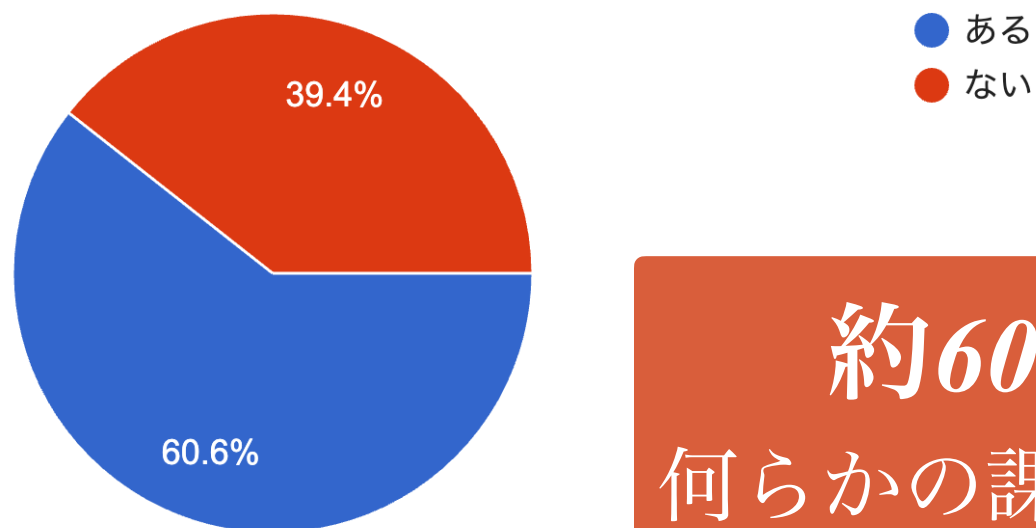
導入の背景

学校評価アンケートから

職員の抱えている課題を捉える

【全職員への質問】 iPadの活用について困っていることや問題だと感じていることがあるか。

33件の回答



約60%の教員が
何らかの課題を感じている

学校評価アンケートから

職員の抱えている課題を捉える

具体的な記述

▼iPad活用に関わること

- 学年が上がるにつれ、タブレットなどを使ってできることなど難易度が上がっていくとよいと考えるが、実際は職員の得意不得意によるところが大きい。
- 1年生のiPad導入計画（見通し）がほしい。

▼デジタル・シティズンシップに関わること

- 教師の目を盗んで学習以外のことをしている児童や休み時間のきまりが守れない児童が数名いる。
- 隙間時間に、iPadで好きなサイトを見る子が数人いる。すぐにそれをやっていいか考えてもらい、片付けてはいる。
- 勝手にiPadでいろいろと遊ぶ子どもがおり、指導や対応に困っている。

出所：学校評価アンケートより

学校評価アンケートから

職員の抱えている課題を捉える

情報活用能力の育成に向けて

年間の見通し

子どもの姿の具体化

6年間を見通すことができる

ルーブリック評価表の作成・運用へ

ループブリック評価表 作成の流れ

ルーブリック評価表作成の流れ

Step1

草案を作成する

- 先行研究や既存の教材をリサーチする
- 当校で重視する情報活用能力を基に、学年ごとに段階を設定する。

参考にする

Step2

実践を基に修正する

- 1年間の実践を書き出して、整理する。
- 実態に合うように、項目やレベルを修正する。

合わせる

Step3

評価する

- 多様な評価者とルーブリック評価表を共有する。
- 形成的な評価を行い、さらに修正していく。

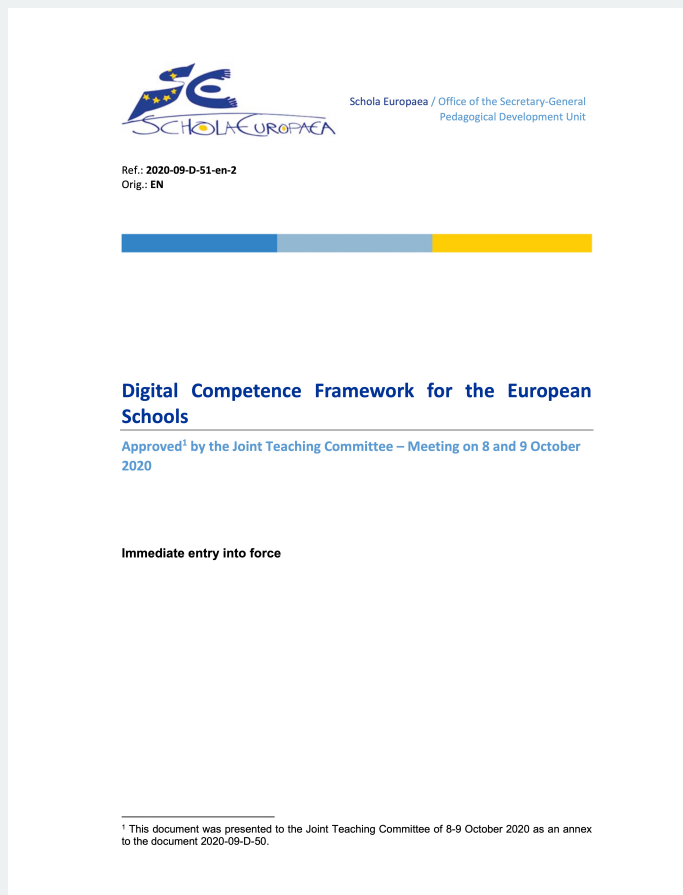
共有する

ループブック評価表作成のために

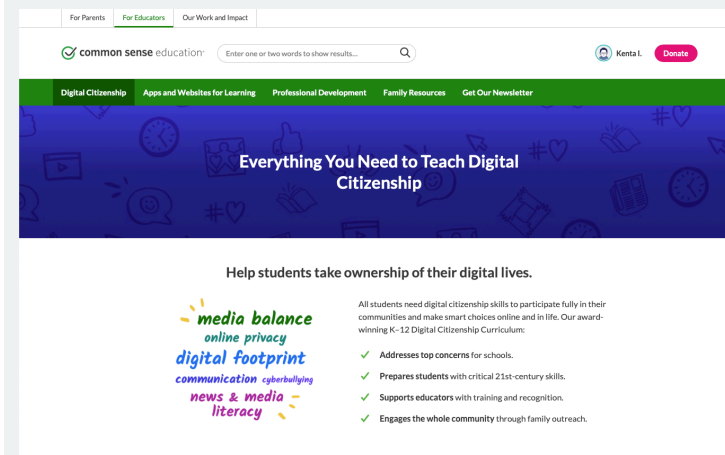
先行研究等を参考にする



新潟大学附属新潟小学校
研究紀要第75集



*Digital Competence Framework for
the European Schools*



*common sense education
Digital Citizenship*

	1 iPadのこと	2 タイピング	3 考えること・表すこと	4 情報を使うこと
Level 1 1年生, 2年生 向け	カメラを使って、写真や動画をとることができる。先生からもらったサイトであれば、アクセスできる。	5分間に、かな入力で、40字くらいの文章を入力できる。	写真や単語などを、ペン図やYチャート、Xチャートなどでくんだり、分けたることができる。	情報を使うための種 先生と友だちの話や教科書に書かれていることが分かる。
学習活動例				
Level 2 3年生, 4年生 向け	時計、リマインダー、メモなど学びに生かせるツールを知っている。必要なアプリを考えて、インストールできる。	5分間に、ローマ字入力で、100字くらいの文章を入力できる。自分のアカウントとパスワードを入力できる。	集めた情報をクラゲチャートやキャンディチャートなどで整理したり、分析したりできる。スライド等を作成し、自分の考えを理論的に話すことができる。	いくつかのサイトから情報を集め、どの情報が正しいかを判断できる。学級や学年に向けて、classroomなどで、情報を発信できる。
学習活動例				
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なツールを考え、組み合わせて使うことができる。	5分間に、ローマ字入力で、200字くらいの文章を入力できる。	文章や表を共同で編集したり、コメントを付けたりしている。動画やイラストなど、文以外の表現方法を知っていて、活用できる。	Web以外に、新聞や図書、アンケートなど、いくつかのメディアから情報を集めることができる。学校内外に向けて、デジタルツールを用いて、情報を発信できる。
学習活動例				

	1 メディアバランス Well-being	2 プライバシー セキュリティ	3 デジタル足あと アイデンティティ	4 人間関係 コミュニケーション	5 ネットいじめ ヘイトスピーチ	6 ニュース メディアリテラシー
Level 1 1年生, 2年生 向け	iPadの使わない時間と場所が分かり、決めた約束を守っている。 教材と指導案など 動画	プライベートな情報には何があるか知っている。 教材と指導案など 動画	自分がどのインターネットを見たか確認している。 教材と指導案など 動画	classroomなどに参加している友だちや先生はだれか知っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめや悪口にはどのようなものがあるか知っている。 教材と指導案など 動画	情報が信頼できるか判断する方法を知っている。 教材と指導案など 動画
Level 2 3年生, 4年生 向け	自分がどのメディアをいつ、どのくらいの時間を使ったか分かり、ふり返っている。 教材と指導案など 動画	人に教えてもよい情報と、教えたくない情報を決めている。 教材と指導案など 動画	インターネットを見ると、自分の足あとが残ることを知っている。 教材と指導案など 動画	聞かれてもよい質問と聞かれたら困る質問が分かり、答えるかどうか決めている。 教材と指導案など 動画	オンライン上のやり取りについて、直接やり取りするときとのちがいを知っている。 教材と指導案など 動画	情報や作品などには著作権があることを知った上で、正しく引用したり、利用したりしている。 教材と指導案など 動画
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なメディアバランスの計画を考え、実行している。 教材と指導案など 動画	プライベートなことを他の人に知らせないために、どうするとよいか分かり、行動している。 教材と指導案など 動画	インターネットで情報発信をすると、自分の情報が残ることを知り、責任ある行動がとれる。 教材と指導案など 動画	発信する情報の種類が分かり、区別して情報発信を行っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめも同じように許されないことだと理解し、そうしないようにしている。 教材と指導案など 動画	いくつかのメディアや情報源から正しい情報を選び、批判的に考えて活用している。 教材と指導案など 動画
共通	責任のリング	教材と指導案	動画			

ルーブリック評価表の作成

ICT端末の善き使い手になれるように

	1 iPadのこと	2 タイピング	3 考えること・表すこと	4 情報を使うこと
Level 1 1年生, 2年生 向け	カメラを使って、写真や動画を撮ることができる。先生からもらったサイトであれば、アクセスできる。	5分間に、かな入力で、40字くらいの文章を入力できる。	写真や単語などを、ペン図やYチャート、Xチャートなどでくべたり、分けたりできる。	情報を使うための種 先生と友だちの話や教科書に書かれていることが分かる。
Level 2 3年生, 4年生 向け	時計、リマインダー、メモなど学びに生かせるツールを知っている。必要なアプリを考えて、インストールできる。	5分間に、ローマ字入力で、100字くらいの文章を入力できる。自分のアカウントとパスワードを入力できる。	集めた情報をクラゲチャートやキャンディチャートなどで整理したり、分析したりできる。スライド等を作成し、自分の考えを理論的に話すことができる。	いくつかのサイトから情報を集め、どの情報が正しいか判断できる。学級や学年に向けて、classroomなどで、情報を発信できる。
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なツールを考え、組み合わせて使うことができる。	5分間に、ローマ字入力で、200字くらいの文章を入力できる。	文章や表を共同で編集したり、コメントを付けたりしている。動画やイラストなど、文以外の表現方法を知っていて、活用できる。	Web以外に、新聞や図書、アンケートなど、いくつかのメディアから情報を集めることができる。学校内外に向けて、デジタルツールを用いて、情報を発信できる。

Point

- 2学年ごとに設定した。
- 子どもに共有することを踏まえ、表現をできるだけ平易なものにした。
- リンクを作成し、学習活動を参照できるようにした。

	1 メディアバランス Well-being	2 プライバシー セキュリティ	3 デジタル足あと アイデンティティ	4 人間関係 コミュニケーション	5 ネットいじめ ヘイトスピーチ	6 ニュース メディアリテラシー
Level 1 1年生, 2年生 向け	iPadの使わない時間と場所が分かり、決めた約束を守っている。 教材と指導案など 動画	プライベートな情報には何があるか知っている。 教材と指導案など 動画	自分がどのインターネットを見たか確認している。 教材と指導案など 動画	classroomなどに参加している友だちや先生はだれか知っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめや悪口にはどのようなものがあるか知っている。 教材と指導案など 動画	情報が信頼できるか判断する方法を知っている。 教材と指導案など 動画
Level 2 3年生, 4年生 向け	自分がどのメディアをいつ、どのくらいの時間を使ったか分かり、ふり返っている。 教材と指導案など 動画	人に教えてもよい情報と、教えたくない情報を決めている。 教材と指導案など 動画	インターネットを見ると、自分の足あとが残ることを知っている。 教材と指導案など 動画	聞かれてもよい質問と聞かれたら困る質問が分かり、答えるかどうか決めている。 教材と指導案など 動画	オンライン上のやり取りについて、直接やり取りするときのちがいを知っている。 教材と指導案など 動画	情報や作品などには著作権があることを知った上で、正しく引用したり、利用したりしている。 教材と指導案など 動画
Level 3 5年生, 6年生 向け	自分にとって必要なメディアバランスの計画を考え、実行している。 教材と指導案など 動画	プライベートなことを他の人に知らせないために、どうするとよいか分かり、行動している。 教材と指導案など 動画	インターネットで情報発信をすると、自分の情報が残ることを知り、責任ある行動がとれる。 教材と指導案など 動画	発信する情報の種類が分かり、区別して情報発信を行っている。 教材と指導案など 動画	オンライン上でのいじめも同じように許されないことだと理解し、そうしないようにしている。 教材と指導案など 動画	いくつかのメディアや情報源から正しい情報を選び、批判的に考えて活用している。 教材と指導案など 動画
共通	責任のリンク	教材と指導案	動画			

ルーブリック評価表作成の流れ

Step1

草案を作成する

- 先行研究や既存の教材をリサーチする
- 当校で重視する情報活用能力を基に、学年ごとに段階を設定する。

参考にする

Step2

実践を基に修正する

- 1年間の実践を書き出して、整理する。
- 実態に合うように、項目やレベルを修正する。

合わせる

Step3

評価する

- 多様な評価者とルーブリック評価表を共有する。
- 形成的な評価を行い、さらに修正していく。

共有する



国語



単元の終末に、
物語に対する自
分の考えを書
く。

伝統工芸を紹介
したスライドや
動画を作成す
る。

書く単元で構想メ
モ作成のために口
イロを使用

「～する」「～しない」
などの動詞を複数使用し、
文を作る際、書き手に
力をつけることができる。
授業の発表も効果的に
促す。

ひらがな、かたか
かなの習熟のため
アプリを使用

作文活動でとても有効
だった。
文章を「はじめ」「中」
「終わり」で組み立てる
のが従来のノートだった
ら大変。

漢字の問題作りが
楽。
熟語作りや漢字カル
タなど、教師側
が作るのが楽。

登場人物の様子
を整理するとき
にクラゲチャ
ートを使った。

冊子を作る活動
が、ロイロノ
ートのテキストで
まとめられるの
が良い。

絵日記アプリを授業で
も、宿題でも使える。
絵を入れたり、写真を入
れられる。絵を描かなく
てもその場でバツと文字
を入れたり編集すること
ができる。

シンキングツール
を使うと文が組み
立てやすい。

「しゃべる教科
書」やロイロノ
ートで自分の声を録
音したり、聞いた
りすることで音読
活動が捗る。

鉛筆でノートに書くこと
に抵抗がある子どもに
ってはロイロノートで
ローマ字入力したり、ひ
らがな入力ができること
はとても有効。

書く学習の時に
、段落の構成を
考えるときに有
効だった。

説明文や物語文の終わ
りに自分の考えを伝え
ようという場面がある
が、共有することが容
易にできる。

Googleスライド
に作品（俳句、短
歌）を書き、みん
なでコメントし合
う。

クラゲチャート
→自分の考えを強
化するのに役立
つ。

各種シンキング
ツールは、自分の
考えをまとめる
ときに役立つ。

カタカナ、ひらが
なアプリ、文字あ
そびアプリが低学
年にはとても有
効。

書く単元の
とき文章の
修正が簡
単。

作文や詩などノ
ートに書いたものを
みんなで見合い、
感想を書いて見
合った。

説明文で、文章
をバラバラにし
て入れ替えて、
文の構成につ
いて考えさせる。

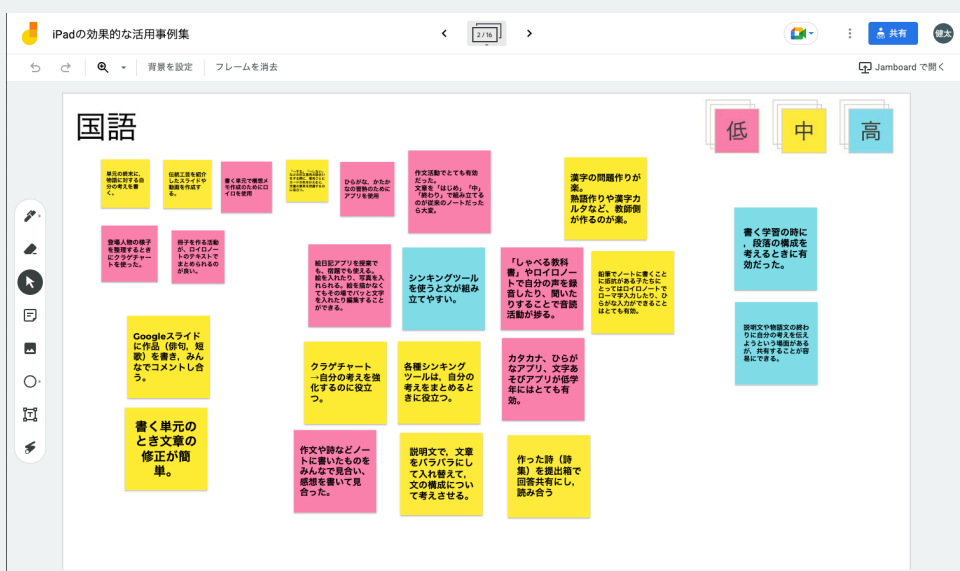
作った詩（詩
集）を提出箱で
回答共有にし、
読み合う



ループリック評価表の作成

具体的な学習活動を意識する

GIGA推進チーム＋各学年PL



- 学年部ごとに付箋の色分けを行う。
- 教科ごとにシートを分けて付箋に書き出す。
- どのような学習活動であったかが分かるように記述。
- メンバー以外も，学年会等で付箋を追加してもらおうよう促す。

国語



	[1] 情報の収集・読み取り 調べる, 撮影する, 計算する等	[2] 情報の整理・解釈 分類する, 比較する, 回答を集約する等	[3] 情報の発信・伝達 プレゼンにまとめる, 動画をつくる等	[4] その他 教師による課題の提示, 個別学習, 遠隔授業等
低	<p>書く単元で構想メモ作成のためにロイコを使用</p>	<p>作文活動でとても有効だった。 文章を「はじめ」「中」「終わり」で組み立てるのが従来のノートだったら大変。</p> <p>登場人物の様子を整理するときにクラゲチャートを使った。</p>	<p>絵日記アプリを授業でも、宿題でも使える。絵を入れたり、写真を入られる。絵を描かなくてもその場でパワと文字を入れたり編集することができる。</p> <p>作文や詩などノートに書いたものをみんなで見合い、感想を書いて見合った。</p> <p>冊子を作る活動が、ロイロノートのテキストでまとめられるのが良い。</p>	<p>「しゃべる教科書」やロイロノートで自分の声を録音したり、聞いたりすることで音読活動が捗る。</p> <p>ひらがな、かたかなの習熟のためにアプリを使用</p> <p>カタカナ、ひらがなアプリ、文字あそびアプリが低学年にはとても有効。</p>
中		<p>クラゲチャート→自分の考えを強化するのに役立つ。</p> <p>各種シンキングツールは、自分の考えをまとめるときに役立つ。</p> <p>書く単元るとき文章の修正が簡単。</p> <p>「一する」「一しない」などの対立意見の話し合いをする際に、意見ごとにカードの色をかえると、授業の進捗を把握するのに役立つ。</p> <p>説明文で、文章をバラバラに入れて替えて、文の構成について考えさせる。</p>	<p>単元の終末に、物語に対する自分の考えを書く。</p> <p>伝統工芸を紹介したスライドや動画を作成する。</p> <p>Googleスライドに作品(俳句、短歌)を書き、みんなまでコメントし合う。</p> <p>作った詩(詩集)を提出箱で回答共有にし、読み合う</p>	<p>漢字の問題作りが楽。 熟語作りや漢字カルタなど、教師側が作るのが楽。</p> <p>鉛筆でノートに書くことに抵抗がある子たちにとってはロイロノートでローマ字入力したり、ひらがな入力ができることはとても有効。</p>
高		<p>書く学習の時に、段落の構成を考えるとときに有効だった。</p> <p>シンキングツールを使うと文が組み立てやすい。</p>		<p>説明文や物語文の終わりに自分の考えを伝えようという場面があるが、共有することが容易にできる。</p>

今後の展開

今後の展開

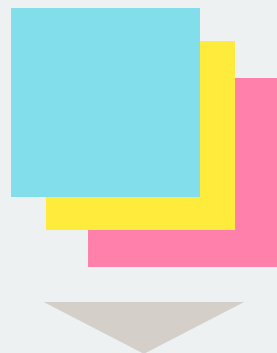
実際に運用し，常に評価改善を図る

1 ルーブリックの修正

2 重点単元の設定

ルーブリック評価表の修正

具体的な学習活動を意識する



*iPad*活用実践事例集

評価基準

評価規準

の見直し

情報活用能力
ルーブリック

+

各教科における
資質・能力

学習活動

のリンク

より実態に合ったものへ

重点単元の設定と情報活用能力の育成

年間指導計画との連携・連動

考えること・表すこと Level 1

写真や単語などを，ベン図やYチャート，Xチャートなどでくらべたり，分けたりできる。

	1 iPadのこと	2 タイピング	3 考えること・表すこと	4 情報を使うこと
Level 1 1年生、2年生 向け	カメラを使って、写真や動画を撮ることができる。先生からもらったサイトがあれば、アクセスできる。	5分間に、かな入力で、40字くらいの文章を入力できる。	写真や単語などを、ベン図やYチャート、Xチャートなどでくらべたり、分けたりできる。	情報を使うための理や先生及だちの紙や教科書に書かれていることが分かる。
学習活動例				
Level 2 3年生、4年生 向け	時計、リマインダー、メモなど学びに生かせるツールを知っている。	5分間に、ロー字入力できる。自分のアカウントとパスワードを入力できる。	集めた情報をグラフチャートやキャンディチャートなどで整理したり、分析したりできる。	いくつかのサイトから情報を集め、どの情報が正しいかを判断できる。
学習活動例				
Level 3 5年生、6年生 向け	自分にとって必要なツールを考え、組み合わせて使うことができる。	5分間に、ロー字入力できる。200字くらいの文章を入力できる。	文章や表を共同で編集したり、コメントを付けたりしている。	Web以外に、新聞や図書、アンケートなど、いくつかのメディアから情報を集めることができる。
学習活動例				

	1 メディアバランス Well-being	2 プライバシー セキュリティ	3 デジタル足あと アイデンティティ	4 人間関係 コミュニケーション	5 ネットいじめ ヘイトスピーチ	6 ニュース メディアリテラシー
Level 1 1年生、2年生 向け	iPadの使わない時間と場所が分かり、決めた約束を守っている。	プライベートな情報には何が分かるか知っている。	自分がどのインターネットを見たか確認している。	classroomなどに参加している友だちや先生はだれか知っている。	オンライン上でのいじめや悪口にはどのようなものがあるか知っている。	情報が信頼できるか判断する方法を知っている。
Level 2 3年生、4年生 向け	自分がどのメディアをいつ、どのくらいの頻度を使ったか分かり、ふり返っている。	人に教えてもよい情報と、教えたくない情報を決めている。	インターネットを見ると、自分の足あとが残ることを知っている。	聞かれてもよい質問と聞かれて困る質問が分かる。	オンライン上のやり取りについて、返信や取り消しなどのしぐさを知っている。	情報や作品などには著作権があることを知た上で、正しく引用したり、利用したりしている。
Level 3 5年生、6年生 向け	自分にとって必要なメディアバランスの計画を考え、実行している。	プライベートなことを他の人に知らせないために、どこまで公開するか分かる、行動がとれる。	インターネットで情報発信をしようと、自分の情報が残ることを知り、責任ある行動がとれる。	発信する情報の種類が分かる、区別して情報発信を行っている。	オンライン上でのいじめも同じように許されないことだと理解し、そうしないようになっている。	いくつかのメディアや情報源から正しい情報を選び、批判的に考えて活用している。
共通	責任のリング	教材と指導案	動画	教材と指導案	教材と指導案	教材と指導案

どの教科のどの単元

で育成するのか？

重点単元の設定

ルーブリック評価表の位置付け

教育ビジョンと情報活用能力ルーブリックの関係性



【中学校区目標】地域社会に貢献し、国際社会で活躍できる人間

カリキュラム全体で育む資質・能力

A 思考する力

B 協働する力

C 自律する力

情報活用能力
ルーブリック

+

各教科における
資質・能力

CS制度等の活用
社会に開かれた
教育課程評価



子ども



教職員



保護者



地域の方々



有識者